

医院で継続的な管理を

お口の



【答え】学校で行われる集団歯科健診と歯科医院で行われる検診は大きな違いがあります。

【問い】今までずっと学校の歯科健診でむし歯と言われたことがなかったのに、歯科医院でむし歯があるとされました。特に痛みもありません。本当にむし歯なのでしょう。(長崎市、17歳女性)

化に伴い、お口の中の環境は常に変動するからです。
むし歯になりやすい部位も年齢とともに変化します。子どものときはかみ合わせの面、その後は歯と歯の間、そしてもっと年齢が上がると歯肉が下がってしまい、露出した歯の根の部分がむし歯になりやすくなります。

むし歯や歯周病は歯が多くある人ほど生涯を通して発症する可能性がありますので、かかりつけの歯科医院でしっかりお口の現状を把握し、問題がある場合はできるだけ早い段階で適切に対応することが大事です。

例えばむし歯に関しては、初期の段階では正しいフッ化物の使用や口腔環境の向上によって、治療が必要ない状態を保つことができます。大人であれば、むし歯だけでなく、歯周病の管理もしっかりと受けるようにしましょう。

むし歯、歯周病は感染症であり、慢性疾患です。早期対応と発症予防のために継続的な管理がとても大事です。

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「80020ながさき」で検索できますので参考にしてください。

学校の歯科健診だけで十分なの？

回答者

まうお 松尾 剛

長崎市坂本1丁目
マント歯科医院院長



学校の健診の目的は集団の概況を把握すること、明らかな問題がある場合はそれ以上放置しないよう治療勧告を出すことです。むし歯は初期の段階では穴が開いておらず、歯科医院で細かい検査をしないと分からないことがあります。また、歯と歯の間などの隠れた部分のむし歯はエックス線写真を撮らないと分からないことが多いのです。むし歯を痛みなどの症状が出るまで放置してはいけません。歯周病も同様ですが、痛みなどの自覚症状が発現するころにはその病気がかなり進行してしまっているのです。子どものころからずっとむし歯がなかった人でも、新たなむし歯ができる可能性は十分にあります。生活環境の変